

伝統・力・心の演奏が響く

―第6回なんたん

ビートフェスティバル―

10月15日、ふるさとの地太鼓祭り「ビートフェスティバル」を、園部公民館大ホールで開催しました。今回は、市内の6つの小学校と、府立淇陽学校、1つの和太鼓サークルの総勢220人が参加。祭りばやしや創作曲など、和太鼓の迫力ある演奏を19曲披露しました。会場を訪れた観客の多くは、そろいの衣装にはちまき姿の演者が奏でる一糸乱れぬ演奏と、和太鼓が放つ独特の響きに感動していました。



▲呼吸を合わせて演奏する園部第二小学校の生徒



▲来場者に説明をする職員

平成台の良さを現地で体感

―平成台販売促進イベント

「平成台祭り」

平成台の市有地販売促進を目的として、9月24日、25日の両日「平成台秋祭り」を開催。市内外から多くの方が来場されました。建築条件付き土地分譲の協定を締結する住宅ハウスメーカー5社の説明ブースを併設し、土地の購入や建物プランニングの相談にのるほか、地元産品の即売会や起震車による地震体験、カプトムシ争奪じゃんけん大会などを実施。市外の方にも、平成台を知っていただく良い機会となりました。

ねらいを定め、的を射抜く

―全京都障害者総合スポーツ大会
アーチェリー大会―

9月25日、京都障害者スポーツ振興会設立40周年記念となるスポーツ大会が、日吉総合運動広場で開催され、府内各地から39人の選手が出場。日頃の練習成果を競いました。競技は、障がいや競技会の経験、力量などにより部門が分けられ、選手は出場部門を選択して出場することができます。南丹市からは5人が参加され、初級者内部障がいの部に出場された吉野隆さん(日吉町)が大会新記録の成績を収められました。



▲真剣な面持ちで矢を構える吉野さん(左から2人目)



▲映画鑑賞をする参加者

思いやり・人権の大切さ学ぶ

―2011 なんたん

ヒューマンシネマ―

8月の人権強調月間の事業として9月10日、園部公民館大ホールで、映画「典子は、今」(松山善三監督作品、辻典子主演)の鑑賞会を開催。当作品は、サリドマイド児の一人である辻さんの出生から青春までを描いたもので、障がいを乗り越え、能力を発揮し、社会に貢献する辻さんの姿が描かれています。173人の参加者があり、一人一人を尊重し認め合うこと、他人を思いやることの大切さを考える機会となりました。